

ポーラ・オルビスグループ合同の入社式を開催

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、2024年4月1日にポーラ・オルビスグループの入社式を開催し、65名の新入社員を迎えました。入社式では、当社代表取締役社長 横手喜一から新入社員へ期待を込めたメッセージを伝えました。以下、メッセージの要旨を紹介します。

ポーラ・オルビスホールディングス代表取締役社長メッセージ(要旨)

1. お客様も、私たちも、生活者であること

ビジネスをしていく中で、私たちが向き合っているのは「生活者」であることをまず念頭に置きたいと考えています。反省も含めて振り返ってみると、我々が向き合っているのはお客様だ、とつい思いがちですが、それは「私たちの化粧品を買ってくれる方」といった企業目線です。真にお客様と向き合うということは、お客様それぞれに家族・地域・社会の中での日常があり、その中で生活者として見た時に、何を提供すれば興味や信頼、そして期待を持ってもらえるかを考えることではないでしょうか。また一方で忘れてならないのは、私も皆さんも、様々な役職等を別にして生活者なわけです。一個人の生活者として、何が必要とされているか、何を本当にやるべきか、といったことを常に考えていただきたいと思います。



2. 『で』仕事ではなく、『が』仕事を

私は仕事には2種類の考え方があると仮説を持っています。それは、『で』仕事と『が』仕事です。『で』仕事というのは、「これでいいですか?」というように、確認を求めるような仕事です。会社にはルールや仕事の進め方があり、先輩から「こういう風にやればいいんだよ」と教わるのが沢山出てくると思います。求められていることが分かると『で』仕事になりがちです。もう1つの『が』仕事は、「これがいいんです」「これがやりたいんです」という仕事。この『が』には主体性があるわけです。既に答えがあることを再確認する仕事だけでは、組織は昨日のままです。昨日のままがずっと続くと、いつかは時代から大きくかけ離れていきます。そうではなく、時代が変わる、生活者の気持ちも価値観も変わる、世の中も変わっていく時には、これまで答えとして認識していなかったことを、新たに見出していく事が大切になります。皆さんの『が』仕事は、変化に対応していく原動力になります。私たちのグループがお客様や社会から選ばれ続けることは容易なことではなく、当たり前ではないという意識をもって、ぜひ『が』仕事をしていただけることを願っています。

3. 問いを立てる

上述のような『が』仕事を実践しようとする、なかなか難しいと言われることも多いのですが、そのような時は「問いをたてること」、これに尽きると思います。会社の仕組みやルール、仕事を覚えた時に、「何故このようなことをしているのか」「どうしてこうなっているのか」と一つひとつ、問いを立ててみてください。日常当たり前にやっていることに対して、常に問いを立て続けていく。環境や社会や生活者の価値観が変わっていく中で、問いに対する答えを見出すのは、簡単な事ではないのですが、この「問いを立てること」に皆さんの集中力と責任感を注いでください。そうすれば、ゆくゆくは私たちのグループの未来に繋がっていくと信じています。

これからの皆さんのご活躍を心から期待し、私からのお祝いと激励と歓迎の言葉とします。入社おめでとうございます。

以上

グループ理念および企業風土を伝える講話およびワークショップを実施

入社式の後半では、当社代表取締役会長 鈴木郷史より「感受性のスイッチを全開にする」というグループ理念に基づき、「A Person Centered Management」についての講話を行いました。「A Person Centered Management」は「個を中心にする」ということで、老若男女、上司部下、役職を問わず、人それぞれの個性、感受性、美意識、考え方を最大限尊重するという企業文化・運営を目指すものです。また、講話を受けて「自分らしさ」をテーマにしたワークショップを設け、新入社員一人ひとりが感受性のスイッチを全開にし、臆することなく個性を發揮していく上で、大切にしたいことや自分自身を表現する言葉を共有し合うグループディスカッションを行いました。



【参考資料】 ポーラ・オルビスグループの新入社員研修について

ポーラ・オルビスグループでは、従業員一人ひとりが自身の持つ能力を最大限に發揮できる環境づくりと、グループのもつ多彩なブランドの成長を牽引できる個性豊かな人材の育成に取り組んでいます。そこで新入社員研修では、基本的な企業概要の理解促進に加え、「個」の価値観を大切にすること、そして倫理観やグループが重要視しているコンピテンシーを理解し、同じグループで働く仲間との繋がりを通じて、協働の喜びを感じてもらうことを目的としたプログラムを盛り込んでいます。

・ 自己の価値観を知り、人と対話するワークショップ

当社グループの研究統括と情報収集機能を担うマルチプルインテリジェンスリサーチセンター (MIRC: Multiple Intelligence Research Center) による「あなたにとっての美」を見つけるワークショップを行います。世に溢れる情報の中から、それぞれが自身の視点で何を感じるか、一つひとつの事例から自分が考える「美」をピックアップし、何を美しいと思い、何を大切に思うか、その輪郭を探るとともに、グループのメンバーとの対話を経て、互いの価値観や考え方を共有します。

・ 個を發揮し、協働のなかでアイデアをアウトプットするデザイン思考ワークショップ

自分自身のものの見方と仲間と協働することを体感するプログラムを行います。個性、自分らしさ、内発的動機を起点に、問いを立て、対話やインタビューで課題やニーズを深掘りし、周囲と協働しながら解決策(アイデア)をアウトプットするためのプロセスを学ぶ機会としています。

➤ ポーラ・オルビスグループ人材育成の方針

<https://www.po-holdings.co.jp/csr/employee/education/>